

昨年大好評につき
ブラッシュアップして開催!

学生の“得意”が地域を変える!?

福祉施設と学生の 協働的実践

~その可能性を
ともに考え・創出する~

令和6年11月21日(木)
14:00~17:00

【会場】
大阪府社会福社会館
3階301 (大阪市中央区谷町7-4-15)



「福祉の魅力をもっと伝えたい」「若い世代とどう協働したらいいか」
こうした悩みの解決法を探ります!

若い世代に地域福祉への関心をもってもらい、地域の活性化をめざすために、学生と具体的にどうつながっていけばいいのか **課題解決型学習(PBL)**に関する分かりやすい講義と豊富な実践事例から、ともに考え、ともに汗を流しながら企画書を実際に作成することで、実践志向のプログラムづくりについて学びます。

講師 上野山 裕士 氏 (摂南大学 現代社会学部 講師)

対象 福祉施設(社会福祉法人等)、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市町村担当者、福祉事務所等職員(施設種別問わず)、テーマに関心がある方等

受講料 3,000円

定員 50名(先着順)

締切 11月6日(水)

※受講決定された方には締め切り後1週間以内に受講決定メールを送信します。
※受講料の振込先、期日等は受講決定メールをご参照ください。

主催

【福祉と人権の研修ネットワークおおさか】

(構成団体) 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会大阪福祉人材支援センター
一般財団法人大阪府地域福祉推進財団

※上記2団体で構成する「福祉と人権の研修ネットワークおおさか」が大阪府の研修委託事業者として実施いたします。

お申込みは、大阪府社協研修グループホームページ
「研修情報検索」から もしくは右記をクリック

研修申込は
こちらから

令和5年度 受講者の声（一部抜粋）

**理解度・活用度
ともに高評価！**

昨年大好評の研修が
ブラッシュアップして帰って
きました！

- ・提案書の作成が参考になりました。
- ・リアルな話が聞けた、学生がいてくれたのもとても良かった。
- ・テーマの書き方、具体的な企画書の書き方など
- ・学生の気持ち、学生の持っている可能性の大きさ
- ・実際に大学生の方の素直な感想を聞くことができ、連携するに当たって何が大切なのか知ることができた。
- ・学生との協働をするうえでの取り組みテーマ・内容の決め方やどんな取り組みが学生と取り組みやすいかが勉強になりました
- ・グループワーク、学生さんとのやり取り、先生の講義、どれも参考になりました。
- ・PBL型学修を初めて知りました。事例を挙げて下さり、分かりやすかった。
- ・個人ワーク、グループワーク、学生へのインタビューや対話を通して、自身の考えを可視化、具体的に書きだすことができ、ちょっと型に持っていけそうに気がしてきました。
- ・面白い、楽しい、ためになる研修でした。ありがとうございました。

受講者の皆さまの声により
ブラッシュアップ！

今年度は、

- 令和5年度受講者の所属施設における実践例を紹介
- 1グループにつき学生1名参加を予定しております！

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

受講にあたってのお願いと注意事項

■安心できる受講環境のために

- ・各事業所等におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。また、休憩時等に定期的な換気を行います。

■携帯電話について

- ・講義中は、マナーモードに切り替えていただくか、電源を切るなど、他の方の迷惑にならないようにご配慮ください。

■貴重品の管理について

- ・会場内には、多数の方が出入りしますので、貴重品の管理は各自でお願いいたします。本会では責任を負えませんのでご了承ください。

■録音について

- ・研修内容の録音・録画は禁止です。

■飲食について

- ・研修時間中の飲食はご遠慮ください。ただし、水分は適宜お取りください。ゴミはお持ち帰りください。